

平成23年度「初山別村・暮らしを支えるネットワーク研究会」開催要領

趣 旨

過疎と高齢化が進む地域に生活する住民の暮らしをトータルにサポートするネットワークモデルを構築し、情報通信のもつ利便性の活用によって生活環境の改善と産業の活性化を目的として、「初山別村・暮らしを支えるネットワーク研究会」が発足して一年が経とうとしている。この間、初山別村ではモバイル機器の配布をはじめとして様々な活動の進展が見られた。今般、それらの活動を総括し、今後の展望を確かなものとするための方針を検討、論議する場として研究会を開催する。

開催日時 2012年3月5日（月）、13時～16時30分

開催場所 初山別村自然交流センター

（苫前郡初山別村字初山別 155 番地 1、電話：0164-67-2136）

予定参加人数 70名

主催 初山別村、初山別村・暮らしを支えるネットワーク研究会
NPO 法人グリーンテクノバンク

共催 日本気象協会北海道支社

研究会次第

1. 開会

挨拶 初山別村長 宮本 憲幸
研究会会長 長南 史男

2. 平成23年度事業実施概要 奥 博嗣（初山別村）

3. 研究および事例報告

- 1) 初山別村住民の生活実態と課題に関するアンケート調査結果
佐藤 信（北海学園大学経済学部）
- 2) 過疎・高齢化地域における食生活の課題と改善方向
高野 良子（天使大学看護栄養学部）
- 3) ICT を活用した教育の実際と効果および課題
小松川 浩（千歳科学技術大学グローバルデザインシステム学科）
- 4) 買い物弱者への支援対策としてのネットショッピングの利用と課題
志田 雅章（株式会社恵和ビジネス）
- 5) 携帯電話による防災および行政情報の伝達システム
大島 巖（日本気象協会北海道支社）

4. 総括と展望

アドバイザー 長南 史男（北海道大学大学院農学院）
黒澤 不二男（北海道地域農業研究所）

5. 閉会

